

第53回精神保健福祉普及大会に参加しました

11月2日(水)、県主催の精神保健福祉普及大会が、アトム・ユニバースてだこホールの市民交流室にて開催されました。

大会のテーマは『働く人のこころを守る』。コロナ禍では、いわゆるエッセンシャルワーカーだけにとどまらず、働き暮らす多くの人たちがさまざまに生きづらさや、精神的な苦しさを経験しています。直近の報道でも、沖縄で教職員の精神疾患による休職率が全国でもっとも高い割合を示すなど、職場のメンタルヘルスは私たちの社会全体で考えるべき喫緊の課題となっています。

大会では、お笑い芸人まーちゃんの特別講演のほか、『職場のこころの健康づくり』を話し合う座談会がもたれました。

精神保健福祉事業功労者表彰では、沖福連・会長の山田圭吾さんと、沖縄市基幹相談支援センター所長の島和也さんがそれぞれ表彰を受けています。

他の多くの関連イベントと同様に、およそ3年ぶりの対面開催となった今回、考えさせられながらも笑顔にあふれる、大変意義深い時間となりました。



受賞者代表挨拶を述べる山田会長(上)と、喜びいさんで二人の応援にかけつけた一同(右)

